

2. 専門領域における年間症例数およびその細目

- (1)脳血管障害・頭部外傷など
- (2)運動器疾患・外傷
- (3)外傷性脊髄損傷
- (4)神経筋疾患
- (5)切断
- (6)小児疾患
- (7)リウマチ性疾患
- (8)内部障害
- (9)その他

\* 症例数の按分がある場合は、按分後の症例数をもとに計算し、  
**基幹施設+連携施設全体**      **基幹施設+連携施設+関連施設**

616例	715例
1398例	1798例
188例	190例
340例	401例
15例	16例
37例	244例
20例	60例
409例	781例
750例	1707例

3. 専門領域における年間検査数

- 言語機能障害の診断
- 認知症・高次脳機能障害の診断
- 摂食・嚥下障害の診断
- 排尿障害の診断

\* 症例数の按分がある場合は、按分後の症例数をもとに計算し、  
**基幹施設+連携施設全体**      **基幹施設+連携施設+関連施設**

110例	210例
780例	880例
130例	280例
43例	48例

4. 専門領域における年間手術数およびその細目

手術項目なし

7-1. その他、領域による必要事項(専門領域における年間治療数およびその細目)

- 運動療法
- 物理療法
- 作業療法
- 言語聴覚療法
- 摂食嚥下療法
- 義肢装具療法、自助具・福祉機器への対応
- ブロック療法

\* 症例数の按分がある場合は、按分後の症例数をもとに計算し、  
**基幹施設+連携施設全体**      **基幹施設+連携施設+関連施設**

8903例	10764例
12420例	12720例
725例	1680例
158例	458例
82例	182例
177例	187例
80例	123例

7-2. その他、領域による必要事項(リハビリテーション科病床数)

- リハビリテーション科病床数
- うち回復期リハビリテーション科病床

539床	589床
104床	154床

7-3. その他、領域による必要事項(医療部門・設備・機器)

- 理学療法士総数
- 作業療法士総数
- 言語聴覚療法士総数
- 脳血管疾患等リハビリテーション料
- 運動器リハビリテーション料
- 心大血管リハビリテーション料
- 呼吸器リハビリテーション料
- 障害児(者)リハビリテーション料
- 難病患者リハビリテーション料
- がん患者リハビリテーション料
- 筋電計
- 心肺運動負荷試験(CPX)

247名	277名
123名	145名
33名	42名
「I」の施設数	「I」の施設数
4施設	5施設
4施設	5施設
2施設	3施設
3施設	4施設
「あり」の施設数	「あり」の施設数
0施設	1施設
0施設	0施設
2施設	3施設
「あり」の施設数	「あり」の施設数
2施設	3施設
2施設	3施設

7-4. その他、領域による必要事項(附属施設)

- 訪問リハビリテーションステーション
- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設
- 通所リハビリテーション施設
- その他( )

「あり」の施設数	「あり」の施設数
2施設	2施設
2施設	3施設
2施設	2施設
3施設	3施設
1施設	1施設